



陽風園だより

No.97

令和2年
4月発行
夏秋冬

春

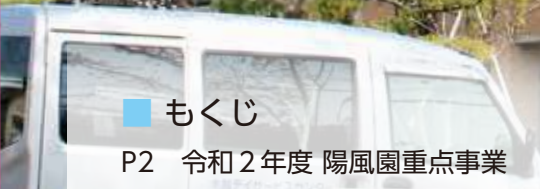
■ もくじ

- P2 令和2年度 陽風園重点事業
- P4 令和2年度 各施設等重点事業
- P7 陽風園からのお知らせ
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに



社会福祉法人 陽風園



令和2年度 陽風園重点事業

～経営基本計画に基づき、地域福祉の中核施設として、
福祉サービス・社会貢献活動の充実に取り組む～

1. 福祉サービスの充実

① お年寄りの皆さんの施設

【入居関係】

- ① 療法師(P.T・O.T)による専門的なりハビリテーションの充実
- ② 健康いきいきプロジェクトの実施(向陽苑崎浦)
- ③ アニマルセラピーの実施(万陽苑)
- ④ 快適な排泄ケアの充実(特養3施設)
- ⑤ 口腔ケア、口腔体操等による誤嚥性肺炎防止対策の充実(特養3施設、養護2施設)
- ⑥ 水分及びミネラル補給の強化による疾病予防の実施(特養3施設、養護2施設)
- ⑦ 利用者リスク(転倒・誤薬・誤嚥)ゼロに向けての対応強化(特養3施設他)

【居宅関係】

- ⑦ 利用者の笑顔と元気を支援する活動
 - ・ コンフォータブルの実施(陽風園デイサービスセンター)
 - ・ 輝きパフォーマンス活動の実施(木越デイサービスセンター)
 - ・ 元気アップ教室の実施(地域包括支援センターみつくちしんまち)
 - ・ パワーアップアクティブ活動の実施(木越デイサービスセンター)
- ⑧ 子どもたちが福祉に触れる最初の入口作り
 - ・ チアアップチルドレンの充実(陽風園デイサービスセンター)

② 救護が必要な方々の施設

- ① アクティビティ向上への取組強化
- ② 循環型セーフティネット機能の構築
- ③ 地域生活移行(在宅)支援の充実
- ④ 緊急一時入所室の有効活用

③ 障害のある方々の施設

- ① テラスパークの利用促進及び日中活動の充実(ハビリポート若葉・若竹)
- ② インターネット販売活動の充実(あけぼの作業所)
- ③ 緊急一時入所機能の有効活用(グループホームもみじ)
- ④ 精神障害者支援体制の確立
- ④ 子どもたちの保育・教育施設(みずきこども園)
 - ① 「認知能力」及び「非認知能力」向上プログラムの充実
 - ② 異年齢間交流等の推進・ネイチャースクールの充実等
 - ③ 発達の連続性を尊重した教育・保育の充実
 - ・ 入園から就学前までの総合的な支援体制の構築
 - ④ 教育・保育専任アドバイザーの有効活用

⑤ 施設全般

- ① エピソードカンファレンスの実施(全施設)
- ② ユマニチュード(認知症ケアメソッド)の普及(特養3施設他)
 - ③ 施設利用情報の発信(特養3施設、養護2施設他)
- ④ 先進介護機器等の導入推進(特養3施設他)
- ⑤ エンジョイライフプランの充実(交流行事の実施等)
 - ・ 陽風観桜会、サマーナイトフェスティバル2020、陽風園フェスタ2020、陽風初春の集いの開催
- ⑥ リラクゼーション環境整備の推進(快適生活空間創出事業)

【給食関係】

- ① サイクルメニューの完全実施(給食メニューの統一化)
- ② 栄養ケアマネジメントの充実
- ③ 非常食対応訓練の実施(非常災害時等対策事業)
- ④ 行事食の充実(四季折々の多種多彩なメニューの提供)

【医療関係】

- ① 地域連携シート(診療情報提供書)の活用(福祉・医療連携事業)
- ② 感染症対策の推進・強化

3. 社会との絆の構築

① 地域連携体制の強化

- ① 民生委員・児童委員との情報共有化の推進
- ② 地域の子どもたちとの防犯マップ・交通安全マップ作りの実施

② 災害時応援体制の強化・充実

- ① 災害時相互応援協定に基づく地域防災活動の実践
 - ・ 地域合同避難所運営訓練(HUG)の実施
 - ・ 地域合同非常食調理会の実施
- ② 陽風園避難所運営マニュアルの策定

③ 社会貢献の推進・充実

- ① 福祉総合相談窓口の周知、地域見守り活動(内川スクールサポート隊)、エコ活動の実施、行方不明高齢者等捜索活動への協力
- ② 地域巡回防犯活動(『ながらパトロール』)の実施
- ④ 地域交流事業の推進・充実
 - ① 地域世代間交流行事(昔遊び伝承会)の開催
 - ② 陽風園行事(サマーナイトフェスティバル2020、陽風園フェスタ2020等)の地域開放
 - ③ 福祉カルチャースクールの充実
 - ④ 施設機能の地域利用促進(全施設)



2. 生活環境の向上

1 本園第二期改築整備事業等の計画検討

- ① 救護施設三陽ホーム改築整備基本構想の検討
- ② 障害者就労継続支援施設改築整備基本構想の検討

2 施設設備の充実

- ① みずきこども園分舎用地取得
〈園庭拡張及び分舎化事業〉
- ② 第三万陽苑外部配管改修工事〈設備刷新推進事業〉
- ③ 屋外喫煙所新設工事(4か所)
〈改正健康増進法対策事業〉
- ④ ハビリポート若葉・若竹食器洗浄機入替工事
〈調理業務効率化事業〉
- ⑤ 第二万陽苑居室内リフォーム工事
〈快適生活空間創出事業〉

- ⑥ ハビリポート若葉居室等フローリング化工事
〈高齢者・重度化対策事業〉

- ⑦ 照明機器等改修計画の策定(全施設)
〈設備刷新推進事業〉

- ⑧ 先進介護機器の整備(特養3施設他)(再掲)
・超低床ベッド、各種センサー等の導入

- ⑨ 備品の整備(各施設)〈快適生活空間創出事業〉
・チェスト、テーブル、椅子、食器、電化製品等の計画的購入

3 安全・安心のための環境整備

- ① 福祉施設情報統合システム活用による施設内見守り機能の有効活用(第三万陽苑)
- ② 施設防犯体制の強化(各施設)
・所轄警察署監修による不審者侵入対応防犯訓練の実施
・防犯対策講座の実施

4. 事業基盤の強化

- ① ドライブレコーダー活用による安全運転管理の推進
- ② 施設外持ち出し端末PCの導入〈業務効率化促進事業〉
- ③ 利用者予定システムの導入〈業務効率化促進事業〉
- ④ 採用種別に特化した人材確保の強化
- ⑤ PDCAサイクルによるケアマネジメントの推進
- ⑥ トータルヘルス対策の充実
- ⑦ 改築整備資金の積立(三陽ホーム、あけぼの作業所)
- ⑧ 借入金償還資金の積立
- ⑨ 福祉専門職員養成の充実
 - ① 介護技術研修室の多目的利用
 - ② 福祉専門職資格の取得支援
 - ③ 陽風園キャリアパス研修の実施
 - ④ 面談技術開発研修の実施
 - ⑤ キャリア段位制度アセッサーの養成等

5. 諸課題への対応

1 委員会の設置

- ① ICT委員会
- ② 社会貢献活動推進委員会

2 プロジェクトチームの設置

- ① 車椅子利用者乗車時の安全確保対策検討プロジェクト
- ② 働き方改革検討プロジェクト
- ③ 人材確保・育成プログラム検討プロジェクト
- ④ 三陽ホーム改築構想検討プロジェクト
- ⑤ 障害者就労支援事業あり方検討プロジェクト
- ⑥ 介護ロボット導入検討プロジェクト
- ⑦ 調理業務の効率化プロジェクト

3 ワーキングチームの設置

- ① 陽風園経営基本計画2018改訂ワーキング
- ② 万陽苑福祉施設情報統合システム導入検討ワーキング
- ③ 介護技術創造ワーキング
- ④ 報酬検討ワーキング

【アイコンについて】
 グレードアップして実施
 今年度から新たに実施
 前年度から継続して実施

「陽風園経営基本計画」は陽風園ホームページから閲覧が可能です。
 ▶ <https://www.yofuen.com>

令和2年度 各施設等重点事業

養護老人ホーム 向陽苑崎浦

『がんばろう崎浦！健康いきいきプロジェクト』

“健康長寿”をテーマに、認知症予防や健康増進・体力アップを目的として、カラオケやリズム・口腔体操、脳トレなどを行い、利用者の方が元気に過ごせるよう今年度は取り組んでいきます。

また、個室化による閉じこもりを解消すべく、利用者の方の生活行動範囲を拡大できるように、苑内でのレクリエーションの拡充や外出の機会をより多く企画し、メリハリのある生活を送っていただけるようにしたいと考えています。

さらに、3階フロアを“くつろぎサロン”として有効活用致します。

利用者が気軽に集え、穏やかに過ごせるように、生活環境空間の構築と楽しみをもって過ごせるような場面設定（喫茶・映画鑑賞・創作・クラブ活動など）を行います。

盛りだくさんのイベントを企画し、実施することで、常に利用者の方が集い、笑い溢れる姿が見られることを期待しています。

養護老人ホーム 向陽苑木曳野

『七夕祭り交流イベントの実施』と『施設ホールの地域開放』

七夕祭り交流イベントの実施は、短冊や七夕飾りを、利用者、地域の方々と一緒に制作を行い、地域交流を行います。

施設ホールの地域開放は、地域の社会資源として、ホールを開放し、健康作りや交流の場として利用して頂き、地域の中の位置づけをはかります。

地域交流を深め、地域ニーズの把握に努めるとともに、社会貢献活動に重点を置くことを目的としています。



特別養護老人ホーム 万陽苑

『アニマルセラピーの実施』

昨年9月、中庭の有効活用の一環として、“アニマルセラピー”をお試しで企画しました。犬好きの利用者様を対象に、職員が自宅で飼っている犬を連れてきて交流するという小規模な催しでしたが、好評であり、急遽10月にも第二弾としての開催を行いました。

普段見ることができないような笑顔が溢れ、癒し効果も抜群でした。

今年度も開催し、動物とのふれあいでお楽しみのお機会を提供するとともに、中庭に出ることで外出の機会が少ない利用者様に外気浴の場を提供し、健康促進・生活意欲向上を図っていききたいと思います。



『快適な排泄ケアの充実』

利用者の皆様が気持ちよく排泄することは、QOL（生活の質）の向上につながります。個々の状態に応じて、お食事・お薬・福祉用具・精神的ケア・環境等を含む広い分野からのアプローチをしていきます。

また、共通スケールを用いて排泄チェックをし、排泄改善のアセスメントを行います。多職種が連携し知識や技術を学び、統一したケアを目指し取り組んでいきます。

自作のスケールを施設内に展示中 



『排泄ケアの充実』

利用者の皆様の安眠とスキントラブルの軽減を図るため、吸収率が高く肌にも優しいパッドと肌の保護力が高い洗浄液を使用し、オムツの随時交換を基本に定時交換の回数を低減します。

オムツアドバイザーにも介入してもらい、適切なサイズやあて方の指導を受け、利用者の方がより快適に感じてもらえるよう介護員のスキルアップを目指します。

また、利用者一人ひとりの適切な排便ケア方法を選択できるように、介護員が養成研修を受け、施設内で伝達し定着させたいと考えています。



地域福祉プラザ

陽風園デイサービスでは、チアアップチルドレンの実施に加えて『コンフォータブル（快適な心地いい）の実施』として、リラックスできる音楽と癒される香りが漂う個室の中で足浴、ハンドマッサージなどを行い、癒しの時間をお届けする機会を提供していきます。一人の利用者様に対して最初から最後まで一人の職員がケアを行いますので、ゆったりとお寛ぎいただけます。

木越デイサービスでは、パワーアップアクティブ活動の実施に加えて『輝きパフォーマンス活動の実施』として、多彩な特技や趣味をお持ちの利用者様がたくさんいらっしゃるため、その活動、パフォーマンスをこども園や地域サロン、専門学校で披露する機会を作っていきます。

利用者様の輝きを地域のいろいろな世代の方たちとコミュニケーションを行いながら、見守り続けていきます。



『アクティビティー向上への取り組み強化』



カラオケ機器を導入、活用し、音楽レクリエーションやラジオ体操第1・第2に加え、内蔵されたオリジナル体操によって心身の活性化を図ります。

また、ターゲットゲームやパズル等ゲームを充実させ、エンドレススタンプを用いた独自の次年度カレンダー製作に取り組む他、ショッピング等外出支援に力を入れ、余暇活動を拡充させることにより日々の生活に張り合いと潤いを持たせます。

『食器洗浄機入替工事』

ハビリポート若葉・若竹の令和2年度の事業として、厨房の食器洗浄機の入替工事を実施します。

平成7年三口新町の旧若葉ホームから、別所町のハビリポート若葉として移転・開設した当初から約25年の長期にわたり稼働し続けてきた食器洗浄機ですが、老朽化のためリニューアルすることとなりました。今後も利用者の皆様の大切な食を支えていくものとして機能していきます。



『販売活動促進事業』

新規事業とし、地域の方や他施設の方々に、あけぼの作業所の商品をより多く購入して頂きたいと考えています。

まずはあけぼの作業所の場所をわかりやすくする為に看板や旗などを設置し、多くのお客様に足を運んでもらえるよう考えています。買いに来られたお客様がすぐに商品を選べるように商品を並べるスペースを確保するなど、試行錯誤を重ねながら、お客様目線での販売を目指します。



『認知能力』及び『非認知能力向上』プログラムの充実

認知能力とは、文字の読み書き等数値を測れる能力(IQ)、非認知能力とは、主に意欲、自尊心、忍耐力、共感力、表現する力で、成長後の精神的な健全さや社会性を高める資質になると考えられています。

昨年度までも、子どもたちの主体性を重じて育ちに応じた遊びや学習体験を行ってきました。今年度はさらに、科学の目を育む力を伸ばすために、身近にある園庭のビオトープや砂場遊びを通しての自然体験活動や、表現活動の中でも音楽に注目し、楽しみながら豊かな表現につながるカリキュラムについて、職員間での学びを深め、子どもたちの発達や興味関心に合わせた適切な実践へとつなげていきたいと思っています。





01 陽風園交通安全強化

職員の交通ルールの遵守と、正しい交通マナーの意識を高めることにより交通事故防止の徹底を図ることを目的に「陽風園交通安全標語」を職員から公募しました。

公募総数254本の中から、安全運転管理者が厳選した結果、右記の標語3本が令和元年度から令和2年度までの「陽風園交通安全標語」に決定しました。

「気をつけよう だろう運転 事故のもと」

作 向陽苑崎浦 中村 治朗

「命より 大切ですか そのスマホ」

作 向陽苑木曳野 山崎美千代

「ゆずり合い あなたの心の みせどころ」

作 グループホーム 黒石 喜子

02 新型コロナウイルス（COVID-19）に対する陽風園の対応について

石川県内で新型コロナウイルス（COVID-19）に感染された方が確認されたことを受け、社会福祉法人陽風園は、感染を防ぐために以下の方針で対応します。この方針の目的は、人から人への感染リスクを極力最小化することにありますので、利用者、利用者のご家族、出入り業者など関係者の皆様にもご協力をお願いいたします。

この方針における各種の制限事項は、国及び石川県のアナウンスなどを総合的に判断した後で解除します。

なお、各施設の日々の対応状況は、別途ホームページ(<https://www.yofuen.com/>)で公表させていただきます。

1 来園者からのウイルス持込に対する対応(外部の方へお願い)

- 面会は原則、禁止します。どうしても面会が必要な場合は電話等で事前にご相談下さい。
- 点検、修理などでどうしても必要な出入り事業者の入園時の衛生対応を義務化します。(入園者の検温及び高熱(37.5℃以上)での入園を禁止します。入園の際は手指消毒とマスク着用を求めます。)
- ファミリーシャトル(ご家族向け無料送迎サービス)の運行を中止します。
- 新規に入所される方には、入所後2週間の(健康状態)特別観察期間を設けます。
- 特別養護老人ホームに新規に入所される方からの要望があれば、無料(無料期間1月)で生活状況記録閲覧システム(YCS-i)の活用をお勧めします。
- 地域向けに研修室等を集会の場として開放していましたが、使用の予約は、当面お断りします。
- 接触感染のリスクに対応するため、多数の人が触れる箇所(ドアノブ、手すり、カウンター等)に対する消毒の頻度を今以上に増やします。

2 陽風園職員が「歩く感染者」にならないための対応 (この方針は、通所サービス利用者にも適用します。)

- 職員は、業務中は常にマスクを着用します。戸別訪問をする職員には違和感のないゴーグルを着用します。
- 職員は、公共交通機関の利用を自粛します。
- 職員は、不要不急の外出を自粛します。人の集まる場所には行きません。

3 濃厚接触が疑われる職員・通所サービス利用者への対応

- 陽性の疑いがある人と濃厚接触している職員・通所サービス利用者は、3日間の自宅待機として、経過観察をさせていただきます。

4 感染が疑われる職員及び通所・入居サービス利用者への対応

- 職員に特徴的の症状(発熱、咳、息切れ、筋肉の痛み、倦怠感)がある場合は、直ちに申告させ、この症状が発現してから、3日間は自宅待機とし、経過観察します。
- 通所サービス利用者の特徴的の症状(発熱、咳、息切れ、筋肉の痛み、倦怠感)があることが確認された場合は、この症状が発現してから、3日間は自宅待機を勧め、経過観察をさせていただきます。
- 入居サービス利用者の特徴的の症状(発熱、咳、息切れ、筋肉の痛み、倦怠感)があることが確認された場合は、当該利用者及び同室者はこの症状が発現してから、3日間は居室隔離とし、経過観察をします。

5 濃厚接触者(職員及び通所サービス利用者)への対応

- 陽性と判明した人と濃厚接触がある職員及び通所サービス利用者は、2週間の入園禁止とさせていただきます。

濃厚接触者とは【患者(確定例)が発病した日以降に接触した者のうち、次の範囲に該当する者】

- 世帯内接触者:患者(確定例)と同一住所に居住する者
- 医療関係者等:個人防護具を装着しなかった又は正しく着用しないなど、必要な感染予防策なしで、患者(確定例)の診察、処置、搬送等に直接関わった医療関係者や搬送担当者
- 汚染物質の接触者:患者(確定例)由来の体液、分泌物(痰など(汗を除く))などに、必要な感染予防策なしで接触した者
- その他:手で触れること又は対面で会話することが可能な距離(目安として2メートル)で、必要な感染予防策なしで、患者(確定例)と接触があった者(患者の症状やマスクの使用状況などから患者の感染性を総合的に判断する)(その接触時間は20分以上)

6 職員及び利用者が陽性と判明した場合の対応

- 陽性と判明した職員及び利用者は、治療に専念していただきます。完治後に、職務復帰及びサービス利用を再開します。
- 陽性と判明した職員及び利用者との濃厚接触者で入居サービス利用者以外は、5で対応します。
- 陽性と判明した職員及び利用者との濃厚接触者で入居サービス利用者は、居室隔離の上で2週間の経過観察をします。当該濃厚接触者への支援担当者は固定します。
- 上記の対応を開始する場合、施設内を感染区域と非感染区域に区別します。
- 職員の入園禁止の措置に伴い、特定の施設でスタッフ数の不足が起きる場合は、園全体で、応援体制を構築します。

7 通所サービス利用者が陽性と判明した場合の対応

- 陽性と判明した通所サービス利用者は、治療に専念していただきます。完治後に、サービス利用を再開します。
- 陽性と判明した通所サービス利用者との濃厚接触者は、5で対応します。
- 上記の対応を開始する場合、施設内の徹底した消毒を実施します。
- 当該事業の職員又は通所サービス利用者による集団感染が疑われる場合は、2週間の休業とします。

8 事業の休業又は停止をする場合

- 石川県、金沢市からの休業の要請がある場合は、通所系事業(通所サービス)を休業します。
- 上記の休業期間中は、代替サービス(在宅訪問等による見守り支援等)の実施を検討します。
- 公衆衛生上、事業の停止がやむを得ないと金沢市が判断する場合は、その事業所の活動を停止します。

9 地域の感染リスクを下げるための対応(社会貢献)

- 密閉空間に人が集まる又は同様の状況が起きるイベントは開催しません。

感謝録 12月~2月

(順不同・敬称略)

◆ ボランティア

- ビハーラかなざわ
- かきつばた
- わくなみこども園
- 末日聖徒イエスキリスト教会
- PL有志(ひまわりの会)
- 新畑ミュージック企画
- 石川県立田鶴浜高等学校
- ラ・フルール
- 沢田玲子歌謡教室
- 髭爺とゆかいな仲間達
- まこと会
- いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭2020
- 金沢第一消防団内川分団
- オカリナフレンズ・ブルーマウンテン
- 「有明紋」友の会
- チャレンジ16
- 笑いヨガ石川
- 株式会社cocosalo
- ひだまりグループ
- JOE KAZU
- 民舞 明の会
- にこにこクラブ
- 読みきかせ
- 犀川保育園
- 中野 吉隆
- 村尾 和子
- 小野 紗織

◆ 寄付物品の部

- 宮浦 真弓
- 松田 忠秋
- 新谷 優子

◆ 寄付金の部

- JA石川県女性組織協議会
- 崎浦ボランティアの会
- 菊川社会福祉協議会
- 北國新聞厚生文化事業団
- 毛利 又弘
- その他匿名16名

ご厚意ありがとうございました。

◎ 実習・体験

- アリス学園 (万陽1名)
- 金沢大学 (プラザ23名)
- 金城大学 (三陽1名)
- 内川小学校 (第三7名)

◎ 社会貢献活動

- 崎浦クリーン作戦 (本園)
- 南小立野小学校ふれ愛りサイクル (本園)

◎ 施設開放 <本園研修室等>

- 三口新町東町会
- 三口新町東婦人会
- 第5ブロック園長会
- 第5ブロック主任保育士会

volunteer message board ボランティア 掲示板



オカリナフレンズ・ブルーマウンテン



新春ミニコンサート
小西牧子様・小野紗織様



風と緑の楽都音楽祭2020



わくなみこども園



井奈悦子様 箏演奏



JOE KAZU



株式会社cocosalo
ハンドマッサージ



ラ・フルール



金沢第一消防団内川分団



上野保育園